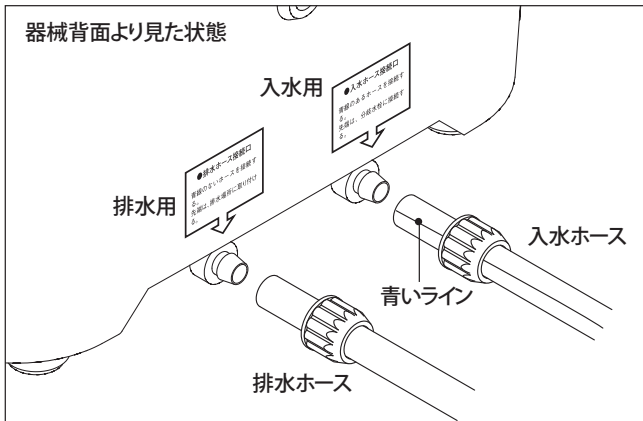


ホース、吐水パイプの接続方法

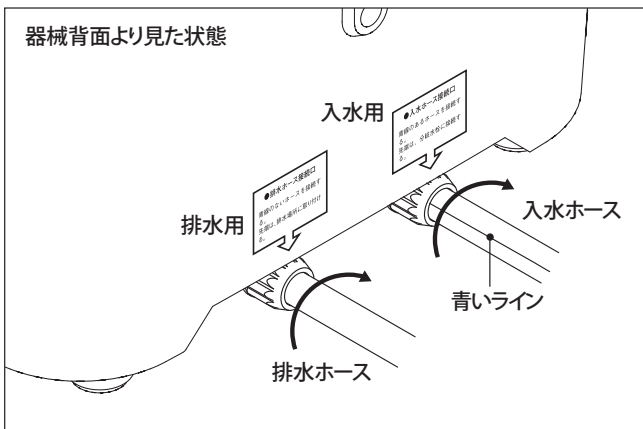
[本体へのホースの接続]

本体の底面にある差込口 (2個) に付属品の入水ホース・排水ホースを接続します。

(1) 差込口についているナットと栓を取り外し、ナットを入水ホース及び排水ホースに通します。(方向を間違わないようにご注意ください。)



(2) 各ホースを差込口にしっかり挿入し、その後ナットにて固定してください。



(3) 排水ホースは付属の吸盤に通し固定してください。入水ホースは接続間違いを防止するために青いラインが印刷されています。接続のときご確認ください。

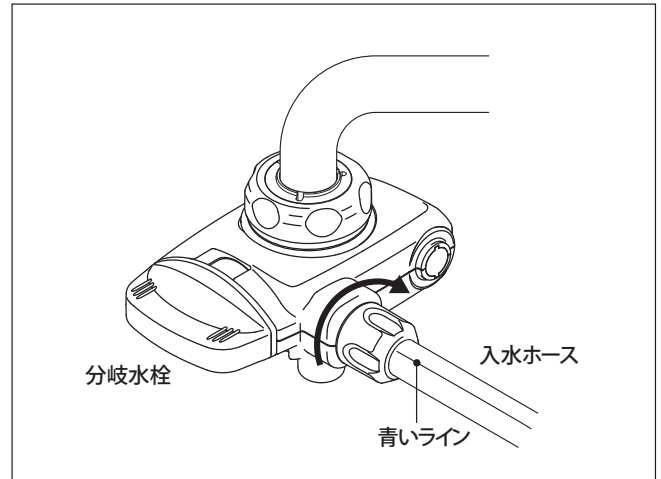
●青いラインの入ったホースを本体の入水ホース接続口と分岐水栓の入水 (青マーク) に取付けてください。

[分岐水栓への接続]

本体へ接続した入水ホースのもう一方を分岐水栓に接続します。

(1) 本体に接続した入水ホースの一方を必要な長さに切り、分岐水栓についているナットを取り外し、ホースに通します。(方向を間違わないようにご注意ください。)

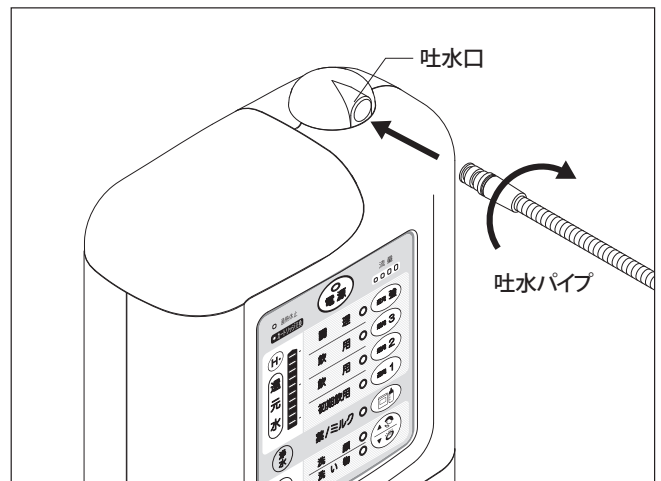
(2) ホースを分岐水栓にしっかり挿入し、その後ナットにて固定してください。



(3) 付属の固定バンドでホースを固定してください。

[吐水パイプの取付け]

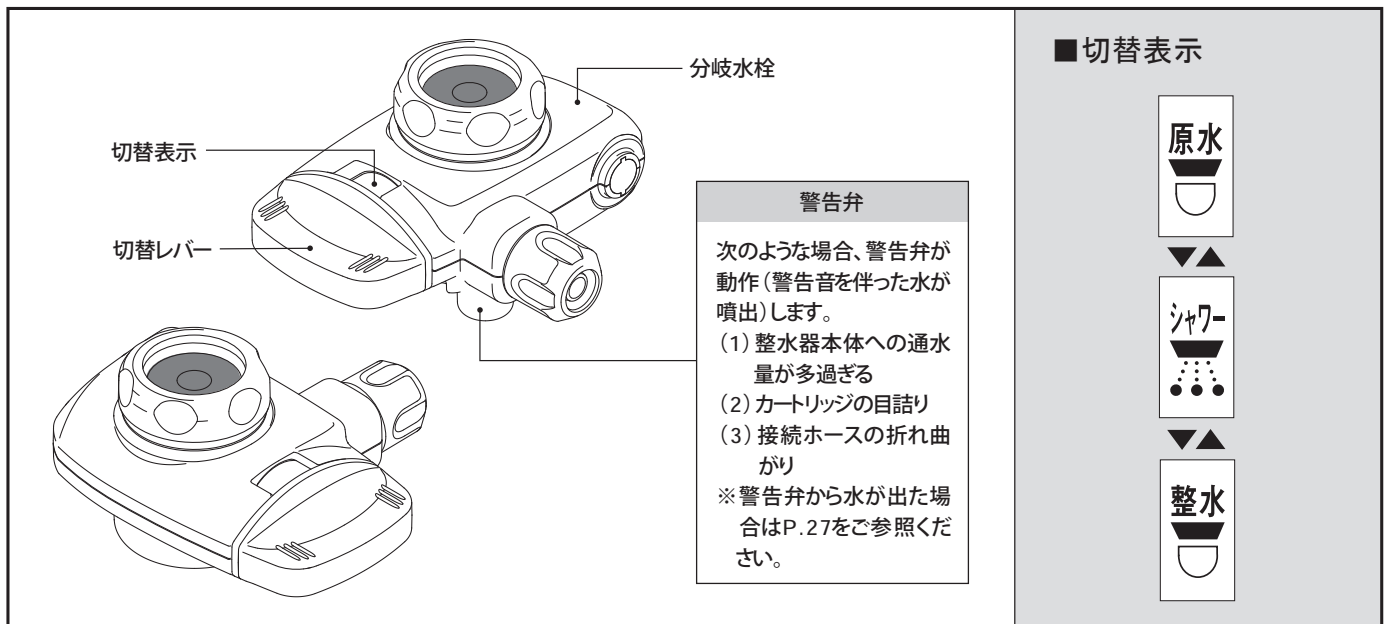
吐水パイプを本体の吐水口に挿入し、ねじ込んでください。



指示

●ホースの接続後に必ず取り付け状態、ナットの締め付け状態、ホースの折れ曲がりやつぶれをご確認ください。

分岐水栓の取扱い



分岐水栓の操作方法

用途に応じて分岐水栓の切替レバーを回すことで、原水（0度）→シャワー（90度）→整水（180度）に切り替わります。

還元水（電解水素水）・酸性水・浄水の取水

切替レバーを操作して切替表示を整水にしてお使いください。本体の取水切替スイッチによって還元水（電解水素水）、酸性水、浄水の選択をしてください。

● 35℃を超えるお湯は本体に通水しないでください。また、約50℃のお湯を本体に通水した場合、警告音と共に排水ホースからお湯が排出されることがあります。ご注意ください。

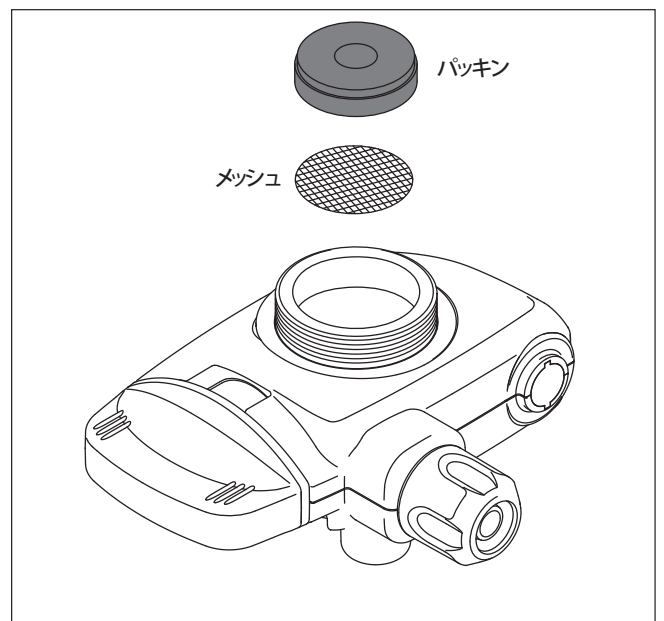
原水・シャワーの使用

切替レバーを操作して、切替表示を原水またはシャワーにしてお使いください。

● 原水とシャワーは60℃以下の水をご使用ください。

[お手入れ方法]

分岐水栓を蛇口から取り外し、パッキンの間にあるメッシュを、ブラシ等で掃除してください。（お手入れの目安：約3ヶ月に1回程度）



取水の仕方

[まず、次のことを確認してください。]

- ① P.1の「安全上のご注意」をよく読みましたか?
- ② 全てのホース及び電源コードが正しく確実に接続され、容易に外れないようになっていますか?
- ③ 全てのスイッチが、正常に作動しますか?
- ④ 浄水カートリッジおよび乳酸カルシウムが正しくセットされていますか?
- ⑤ しばらく使用しなかった場合は、上記の①～④を行い、本器が正常に、かつ、安全作動することを確認してください。

(1) 電源スイッチを押してください。(電源表示灯が点灯)

※初めてご使用のときや、毎日の使い始めは、酸性の洗い物で通水してください。(P.6)

(2) 使いたい整水の取水切替スイッチを押してください。(ランプ点灯)

(3) 分岐水栓を整水に切り替えてください。

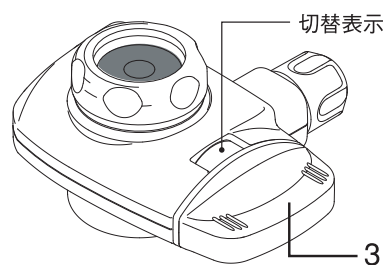
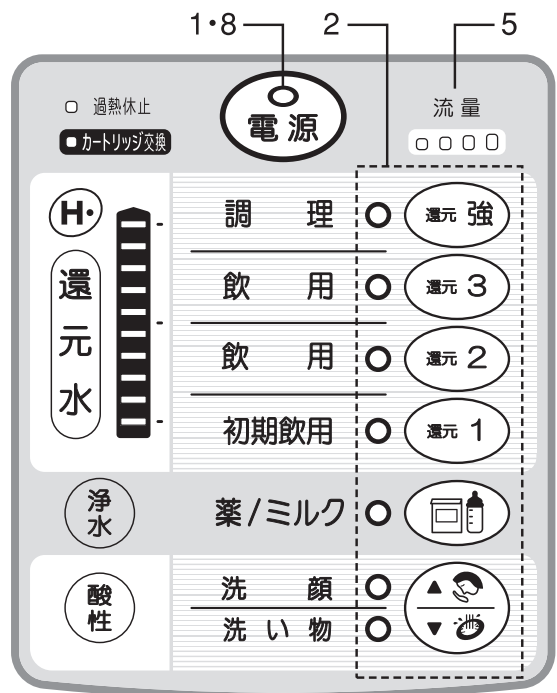
(4) 蛇口を開け、水を出してください。

(5) 流量表示灯が点灯します。流量表示灯は水量により点灯数が増減します。赤色が表示する場合は、水量が多すぎますので蛇口を絞って水量を調整してください。

(6) 水が出ると還元水(電解水素水)の場合はメロディが鳴り、酸性水の場合はブザー音が鳴ります。鳴り始めて2～3秒後に安定した生成水が取水できます。また、浄水の場合は無音のため、水が出始めて2～3秒後に取水してください。

(7) 終わったら蛇口を閉じてください。流量表示灯が消え、メロディ、ブザー音が切れます。

(8) 電源スイッチを押して電源を切ります。



切替表示

整水




指示

- 吐水パイプや排水ホースの先端を水面に触れさせた状態で使用しないでください。
- 水を出したまま、他の整水に切り替えないでください。ブザーが鳴り表示灯が点滅することがあります。一度、蛇口を閉じてから他の整水に切り替えてください。

		用途例	pHの目安
還元水 電解水素水	還元強	調理用、煮物、あく抜きなどに	9.0~10.5
	還元3	飲用、コーヒー、お茶、鍋物、汁物などに	8.5~9.9
	還元2	飲用、お米を炊くとき	8.0~9.5
	還元1	飲用、初めて飲むとき	7.5~9.0
浄水		飲用、薬の服用、乳児のミルク用	
酸性水	洗顔	洗顔用 (肌に近い酸性です)	4.5~6.8
	洗い物	食器などの洗浄用	3.5~5.5

※pHは水質(地域、季節、水温)によって異なります。



指示

●還元水(電解水素水)中に白い物が浮いたり、還元水(電解水素水)を入れたポット等の容器に白い付着物がつく場合がありますが、水中に含まれるカルシウムが出てきたものです。飲んでも問題ありませんが気になるようでしたらpH濃度を下げてください。(pHは還元強→還元3→還元2→還元1の順に下がります。)

生成水の使用法

還元水(電解水素水)

- 取水切替スイッチは4段階あります。還元1、還元2、還元3、還元強の順にpH濃度が高くなります。
- pH10以上の水は飲用しないでください。
- pH9.5 (PH比色紙表9.0~10.0の間の色)が飲用に適しています。
- 初めて飲用する方は還元1で少量から飲用してください。
- 1日あたり500ミリリットル~1000ミリリットル程度を目安に飲用してください。
- 還元水(電解水素水)は、取水後なるべく早く飲用してください。また、還元水(電解水素水)を保存する場合は、清潔なペットボトル等の密閉容器に入れ冷蔵庫で保存し2日以内に飲用してください。

酸性水

- 取水切替スイッチは2段階あります。スイッチを押すごとに洗顔、洗い物が切り替わります。
- 酸性水は飲用しないでください。
- 洗顔用や食器などの洗浄用として使用してください。
- 酸性水を保存する場合は、清潔なペットボトル等の密閉容器に入れて保存し、2日以内にご使用ください。

浄水

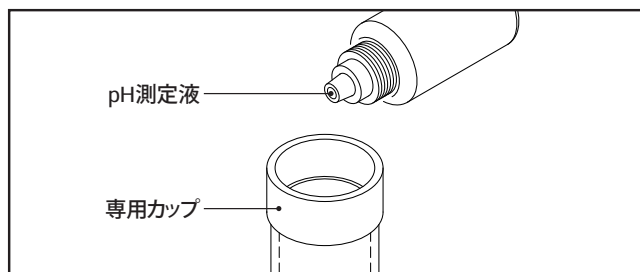
- 浄水は水道水をろ過した不純物の少ない水です。電気分解はしていません。
- 薬の服用時の水、乳児のミルク用の水として使用してください。
- 浄水を保存する場合は、清潔なペットボトル等の密閉容器に入れ冷蔵庫で保存し、2日以内に飲用してください。

お知らせ

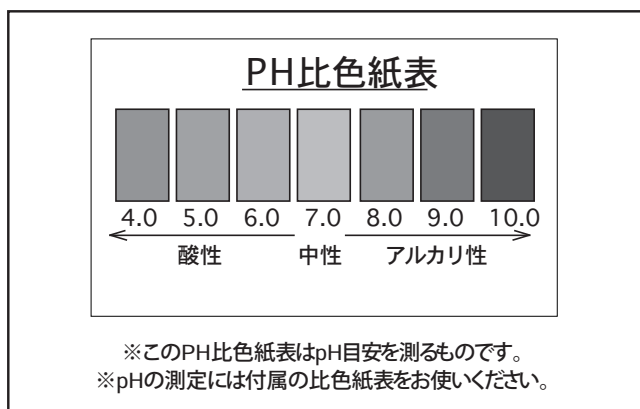
- 5分間以上の連続通水をした場合、表示灯が点滅し、pH濃度が下がることがあります。
- バルブモーター回転時に通水すると、流量ランプの点滅とブザー音でお知らせすることがあります。
- 生成水の使用につきましては、必ずP.1「安全上のご注意」を併読のうえ、ご使用ください。

還元水(電解水素水) pH濃度の測定方法

- (1) 専用カップに還元水(電解水素水)を8分目まで入れてください。
- (2) 付属のpH測定液を付属の専用カップに1滴落としてください。



- (3) 変色した還元水(電解水素水)をPH比色紙表と比較してください。pH9.5 (PH比色紙表9.0~10.0の間の色)が飲用に適しています。測定に使用した水は、飲まないでください。



お知らせ

- 飲用範囲は、pH10未満の還元水(電解水素水)と浄水です。
- pHは、水質(地域・季節・水温)や本器への通水量などで変わります。還元水(電解水素水)を飲用する時は、使用開始時および1か月に1回以上、pHの測定を行い、pH9.5 (PH比色紙表9.0~10.0の間の色)であることを確認してから飲用してください。
- 初めて飲用する方は、還元1で少量から飲用してください。
- pH測定液を目に入れたり、飲んだりしないでください。pH測定液は必ずふたをして、乳幼児の手の届かない所に保管してください。また、火気には近づけないでください。

[長期間使用しないとき]

- (1) 蛇口を閉じてください。
- (2) 分岐水栓の切替レバーは原水またはシャワーにしてください。
- (3) 乳酸カルシウム添加筒を取り出し、洗ってください。
- (4) 数日間以上使用しなかった後再度使用し始める時には、酸性の洗い物で通水後、還元水(電解水素水)に戻してから飲用してください。(P.6)

過熱休止について

この器械には安全装置として過熱防止装置が搭載されています。

還元水(電解水素水)または酸性水を長時間連続して使用すると器械内部の温度が上昇し、過熱防止装置が働く場合があります。過熱防止装置の作動中は下図の過熱休止ランプが赤く点滅します。



この場合は通水を止め、使用を中断してください。過熱休止表示が消えます。2分間の過熱休止時間が終了すると、使用を再開することができますが、器械内部の温度が下がってくるまでお待ちください。
⇒ 浄水は問題なく使用できます。